

積極的に地域の人(会社、商店、お客さん)にかかわりながら、主体的な商店運営をすることを通して、相手意識を高め、かかわり合った商店・人への親しみを深める学習

ふれあいに出会う町 肴町
笑顔で 協力 キッズマート **— 3年 —**

日時 9月30日(木) 5校時
対象 3年 男子22名女子19名計41名
指導者 宮野光一

＜本単元のねらい＞

感じる力

ねらい
・自分たちならではのキッズマートを開きたいという願いをもつ。
・地域の人とのかかわりを大切にし、お世話いただいた方々への感謝の気持ちをもつ。

実態
・児童は、キッズマートへのあこがれをもっているが、「自分たちならではの」という視点を持っている児童は少ない。
・お世話になった人に感謝の気持ちをもつことができるようになってきている。

考える力

ねらい
・魅力ある店づくりのために、商店の工夫を参考にしながら、自分たちの店に必要な工夫を考えることができる。

実態
・児童は、漠然と商店では商品売の工夫をしていると感じている。その工夫は、お客さんの立場に立ったものであることに気付いている児童は少ない。

＜実感をもたせる工夫＞

・まちづくり会社や商店街の方に児童自身が働きかけ、キッズマートが実現できるようにする。
・魅力ある店づくりをするために、視点を変えながら3回の肴町商店街の調査活動等を行う。
・調査したこと、その後の交流会で学び合ったことを生かして、それぞれの「自分たちの店ならではの」工夫を明確にする。

かかわり合う力

ねらい
・主体的に地域の人にかかわりながら、商店運営に必要な情報を収集する。
・魅力ある店づくりのために、友達と考えを交流し、学びを深めることができる。

実態
・人とかかわりながら学習することにも慣れてきているが、自分から進んで必要な情報を収集するという面はやや弱い。
・友達との交流で新しい考えをもつということを意識できる児童は半数ほどである。

表す力

ねらい
・店づくりの計画や準備、練習を通して、魅力ある「自分たちの店ならではの」工夫(品揃えや装飾、配置、呼び込み、宣伝など)をする。

実態
・前単元「岩手公園ガイドになろう」の学習を通して相手意識は育ってきている。しかし、伝えたいことを相手意識をもって、自分の言葉や方法で適切に表現する力は十分に育っているとは言えない。

＜単元の展開＞(時間)

28時間

段階	主たる活動	指導の手立て
課題をもつ(4)	<ul style="list-style-type: none"> ○ キッズマートに取り組んでみたいという願いと意欲をもつ。 ○ どうすればキッズマートを開くことができるか聞き取り調査をし、開店の許可を得る。 ○ 店を出すまでに必要な主な活動を知る。 ○ 課題をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの肴町での学習、昨年度までのキッズマートを想起させ、意欲の喚起を図る。 ・ 事前に関係団体に協力を依頼するが、児童たちが主体となるように学習を組む。 ・ 「自分たちの店ならではの」工夫をすることを課題とする。
調べる(5)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査活動を行う計画(調べること、調べ方、記録の仕方、調べる時の約束)を立てる。(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ毎に店の名前と組織、どんな店づくりをするか考えさせ実感をもたせる。 ・ 店づくりのために必要な情報を得るためには、実地調査が必要なことに気付かせる。
本時 3/5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査活動1をする。(1) 本時 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>本時のねらい 主体的に地域の人(会社、商店、お客さん)にかかわり合うことを通して、店づくりに必要な情報を集めることができる。(かかわり合う力、考える力)</p> </div> <p style="text-align: center;">〈課題〉店づくりに必要な情報を集めよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 調べること、調べ方、記録の仕方、調べる時の約束を確認する。 自分たちの店づくりに生かせるようにグループ毎に調査活動を行う。 ＜ポイント＞よく見て、聞いてプリントいっぱいメモする 全体で交流する。 ふり返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちの店づくりに生かせる情報を集めることを確認する。 ・ まちづくり会社、商店の方と事前打ち合わせを行い、質問等を知らせておく。 ・ 児童のお客さんに対する相手意識を高めてもらうよう商店の方々の協力を得る。 ・ お店の工夫等で気付いたことを交流する。 ・ ねらいに沿った観点でふり返りを行う。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査活動1のまとめをする。(1) ○ 調査活動2をする。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査活動1の成果と課題を整理した上で、調査活動2を行う。
(3) まとめる	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査したことをまとめ、学年内で交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり会社、商店の方々に「商売」としての視点で不足しているところを指摘及びアドバイスをいただく。
発信する(14)	<ul style="list-style-type: none"> ○ キッズマートの計画をたて、準備を進める。 ○ 調査活動3(実地踏査)を行い、開店の準備をする。 ○ 商店街でキッズマートを行う。 ○ 成果を整理し、他学年への発信の準備をする。 ○ 他学年(4年生)への発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 準備や開店において「自分たちの店ならではの」を常に視点としてこだわりをもたせる。 ・ 商店街に行き、物の置き方や自分たちの立ち位置など、具体的なイメージをつかませる ・ 活動が停滞している時は、友達や教師、会社や商店の方からアドバイスする。
(2) 自分を覚める	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動をふり返り、自分の成長や友達のよさをたしかめる。 ○ お世話になった方々に感謝の気持ちを表す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の価値を確認するとともに、自分の考え方の成長を見つめさせ、達成感をもたせる。 ・ 気持ちの表し方は、児童にも考えさせる。

